

シニア講師塾／メールリングリストで共有化した資料

2012/09/～22013/03 集合塾までの間の資料

【1】2011/09/08 発信

〔件名〕 「シニア講師塾」の ご案内 / 最初のメール (メールリングリスト)

会員の皆様へ 真・報連相にご関心のあるすべての人たちへ
お世話になります。糸藤です。

【 真・報連相研修 シニア講師塾 】

のご案内です。ご検討くださいませ。申し込み先行で、
日程を確保していただければ幸いです。

~~~~~

- (1) 【日時】 3月9日(金)・10日(土)の2日間  
初日は、11時開始です。(いずれか 一日だけでも参加できます。)

9日 10時受付 シニア講師塾 11:00～17:00  
(同じ会場で、簡単な懇親会) 17:10～17:50  
10日 シニア講師塾 9:30～16:30

- (2) 【会場】 JR名古屋駅近く 駅から徒歩5分  
「ウインクあいち」(=愛知県産業労働センター)  
<http://www.winc-aichi.jp/> 電話 052-571-6131  
地図 → <http://www.winc-aichi.jp/access/>

- (3) 「シニア講師塾」の内容・概略  
初日 : 主に／真・報連相で、A自己の「コンテンツの質を高める」  
2日目 : 主に／B「質の高い研修の進め方」

[質の高い研修講師]

= A [質の高いコンテンツ] × B [質の高い研修の進め方] × C [自分販売]

~~~~~

- ・レベル表の4度・5度を中心にした コンテンツの深掘り。
 - ・4度・5度を含めて、1度～5度までのレベル表全体の総理解
 - ・真・報連相研修の進め方／考え方と技法。職人技も・・・
 - ・「レクチャー力」、「ファシリテーション力」、「コメント力」のヒント
 - ・研修ファシリテーション／講師による「介入のパターン」と、ヒント
 - ・「質問する」、「質問を受ける」技法について相互学習でヒントを得る
 - ・「研修についての基本的な考え方」（40ページぐらいの新資料を贈呈）
 - ・研修教材の作り方実習①／ケース研究の教材の作り方と、使い方
 - ・研修教材の作り方実習②／演習問題の作り方使い方、コメントの仕方
-
- ・DISC（性格の自己診断）と真・報連相のこと
 - ・他者の権利を侵さない、自己の権利を守る、著作権の必須基本知識
 - ・「真・報連相」開発の経緯・歴史、秘話、など
 - ・「日本報連相センター」創設と今日までの歩みと夢
-
- ・相互の知識・経験・ノウハウ・諸情報などを交換して、情報の共有化を
楽しみましょう。有益な情報が集積・共有される場です。
 - ・参加者からの質問を受けて、質疑応答に十分な時間をとります。

~~~~~

- このたびの、シニア講師塾は「守破離」の”破”です。「”養成”講座」  
ではありません。養成はできないのです。応用ができる講師になりましょう。  
”離”は容易なことではできません。運も必要です。しかし、”破”は、  
シニア講師になるの意志があればできます。

=====

- このような人たち、に ご参加いただければ幸いです。

- ・「真・報連相」の開発者から、直接開発意図などを聞きたい人
- ・レベル表の各項目が、そこにあるワケを知りたい人
- ・コンテンツより「研修の進め方の基本的な考え方」を知りたい人
- ・これから、シニア研修講師を目指す人、
- ・すでに自己の専門・得意分野でシニア講師である人
- ・シニア講師の人たちと互いに、親しく交流・懇談したい人
- ・インストラクター養成講座（基礎編）を受けられた人

- ・基礎編は受ける必要のない、ベテラン講師である人たち、  
（会員以外の一般も含めて／真・報連相は進化・深化しています）
- ・日本の報連相と海外の報連相 に ご関心のある人
- ・真・報連相の自己学習を深める手掛かり・ヒントを得たい人
- ・講師を目指していなくても、真・報連相に関心のある人なら誰でも
- ・開発者の糸藤と膝を交えて 対話・懇談・懇親 してみたい人

=====

■（４）【定員】は、３０名（最少催行人員１０名）

■（５）参加料 二日間で ２５,０００円 です。

参加料の振込先は、申込者への受付メールでお知らせいたします。  
（一日だけの場合には、参加料は上記の半額です）

~~~~~

● 申し込み先： 返信メールで、糸藤へ直接お願いします。

今回 「一度だけの開催」になると思いますので、定員で締切になる前に、
お早めにお申し込みください。この機会に 皆様と語りあいましょう。
糸藤の持っている 情報と情熱をすべて出します。皆様からも、お願いします。

=====

私も まだ未熟です。この塾で、ともに学びたいと思います。
私も含めて塾生だけの集いです。
以上です。 よろしく願いいたします。

日本報連相センター（本部） 糸藤正士から

【２】2011/10/02 発信

〔件名〕 「シニア講師塾」塾生への参考情報（期待） 1回目

／（塾生の皆様と全員全員へ メールングリストで情報を共有化）

お世話になります。糸藤です。

シニア講師塾の参加について 参考情報を毎月月初に計6回発信します。
これは参考情報第一回目です。参加されない会員の方とも情報の共有化
をしたいと思いますので、メーリングリストへ投稿いたします。

~~~~~参考情報です~~~~~

① シニア講師塾の参加者が集合するのは、3月ですが、「塾」は  
3月9日・10日の二日間だけではありません。  
参加申し込みされ・受付の返信が届いた日が、入塾日です。つまり、  
「6か月間がシニア講師塾」です。集合する2日間は、「集合塾」です。  
(その後は、自問自答で自己育成を続けてください。)

② 塾生は糸藤を含む参加申込者ですが、集合塾で使った資料はすべての  
会員に公開いたします。参加されない人も毎月初のメーリングリストを参考  
にされて、6か月間自己育成を続け、“伴走”してくだされば幸いです。

③ 3月の集合塾は、塾生のみです。オブザーブも事務局もいません。塾生みんな  
で運営に協力しましょう。(受付とか、机の配置とか、もろもろの事務・雑務などです)

=====

④ 「3つの視点」の「自己」は、変わります。糸藤も集合塾へ参加の皆様も、  
現在の「自己」ではなく、6か月後の3月には変化した「自己」で集まりましょう。

~~~~~

⑤ 私も、変わります。

- ・ レベル表4度・5度の各項目の意味をさらに研究・深化
- ・ 1度から5度まで、59項目の関連を考える
- ・ 真・報連相の基本から、考え方を再考し、整理する
- ・ 真・報連相の源流に遡ってみる
- ・ 真・報連相研修の進め方について、考えを深める
- ・ 真・報連相だけでなく、研修一般の進め方の基本は何か
- ・ 集合塾での 伝え方の創意工夫、
- ・ ヒントがつかみ易い資料の整理、開発
- ・ 今まで、お伝えしていない情報を、すべて出す準備
- ・ 世間の研修を知る。「講師になる方法本」20数冊読破

・真・報連相の関連分野について、にわか勉強

● 6か月かけて、徐々に肩の力をぬくこと（難問です）

（上の列挙を見ますと、相当肩に力が入っているようですね）

=====

⑥ ■ 3月の「集合塾」に参加申し込みされた方への「期待」

（今回が、第一回目の期待です。 10月2日）

この期待は、シニア講師へ向かっての自己変革のためです。

~~~~~

最初の期待です。

●●【真・報連相のハンドブックを10回読破】●●してください。

すでに10回読んでいる、シニア講師の人は、3回以上読み返してください。

● 10回読破の期待期日は10月末まで、です。（遅くとも11月末までには読破してください。）集中が大切です。社労士塾の体験から言えることですが、長期間かかって10回読破をした人はいないのです。

現在は、未だシニア講師ではない、これからシニア講師を目指す人

（シニア講師候補）は、10回読破を、真・報連相のシニア講師になる必須条件

だと考えてください。一回読む毎に読了日の日付をハンドブックに書き込んでください。

（読んだか、読まなかったか 誰もチェックしません。

自己チェックがシニア講師です）

「集合塾」で、コンテンツの知識的学習をするのは、時間の無駄です。知識は、ハンドブックに書かれています。書いてないことを得るのが「集合塾」です。

最初の1回読破には、丸一日かかるかも知れません。2回目は、集中すれば5時間ぐらいで読めます。3回目は、4時間ぐらいで読めます。だんだん少ない時間で読めるのです。ただし、流し読みでは ダメです。意味を考えながら読み込んでください。その方が頭に残ります。

講師は、役者と同じように講師と言う役をする人です。

講師も一種の役者です。役者には、まず、セリフの丸暗記が必要不可欠です。

セリフを覚えていない役者は失格です。

繰り返しますが、真・報連相のセリフは、ハンドブックに書かれています。

ですから、ハンドブックの丸暗記が、シニア講師になる最短コースなのです。

アドリブができるのがシニア講師ですが、それには、ハンドブック丸暗記で基本セリフがすらすらと、口から出るようになると、効果的なアドリブができます。

そのために、まず、セリフの暗記で基礎体力をつけましょう。

「集合塾」（合宿）までの、自主トレの第一ステップです。

●[質の高い研修講師]

= [A 質の高いコンテンツ] × [B 質の高い研修の進め方] × [自己販売]

です。質の高いコンテンツを得るには、ハンドブックの丸暗記が一番の近道です。

近道を歩みましょう。（何度も しつこく言ってすみません）

・集合塾では、ハンドブックに載っていないコンテンツを提供するのが主眼です。そして、コンテンツの活かし方が重点です。つまり研修の進め方のヒントを得るのが参加者にとっての得策というワケです。

●そのために、「ハンドブック10回読破」を忠実に実行して変身されますよう、期待します。

~~~~~

上記は、「”事前”学習」ではありません。”事前”ではなく、”塾内”です。

申込者は、すでに入塾されているのです。塾生への期待です

次回は、11月1日または、2日に情報提供します。

以上です。 よろしく願いいたします。

日本報連相センター（本部） 糸藤正士から

【3】2011/11/01 発信

【件名】 「シニア講師塾」塾生への参考情報（期待） 2回目

／（会員の皆様と全員全員へ メールングリストで情報を共有化）

お世話になります。糸藤です。

~~~~~参考情報です~~~~~

■ 3月の「集合塾」に参加申し込みされた方への「期待」  
(今回は、 第2回目の期待です。 11月1日)

~~~~~

【期待1】

「真・報連相の研修」か、「講演」の実施です。

3月のシニア塾（集合塾）までに まだ日にちがかなりありますので、
その間に 自分が講師になって、研修か講演の実施体験を積まれますよ
う期待します。 泳げるようになったら水に入るではなく、
とにかく 先に 水に入る・・・おすすめです。

~~~~~

【期待2】

『真・報連相読本』、とか、『職場の報連相 基本のキ』（JTEX テキスト）  
他 を読んで、ハンドブックの内容理解をより一層深めていただければ・・・  
という期待です。

●上記の『基本のキ』を入手ご希望の塾生は、糸藤へメールでお申込み  
ください。数量に限りがありますので、塾生限定にさせていただきます。

~~~~~

【期待3】

先月の期待の継続です。
ハンドブック10回読破。未了の人は、引き続き短期間での読破に
チャレンジされますよう、期待しています。塾生の基礎体力づくりです。

(すでに10回読破された塾生お二人の情報を別メール・
追伸2で ご紹介します)

以上です。

==▼▼ 詳しくは、別のメール・追伸で送信します（下記~~~~以下です）=====

~~~~~

〔上記メールの つづき／その1 〕 (第2回目期待メールの【追伸1】)

「真・報連相研修 シニア講師塾」参加者の皆様 と 会員の皆様へ  
お世話になります。糸藤です。【追伸1】です。

詳細を書き、長いメールになりました。恐縮です。

=====詳細です=====

●11/1 のメールの中の【期待2】の具体的図書名

『真・報連相読本』（鳥影社）・・・経営幹部・管理者用

『報連相の技術がみるみる上達する』（日本実業）・中堅用

『職場の報連相 基本のキ』（JTEX社）・・・初級社員用

『上司と部下の真・報連相』（PHP）・・・DVDの副読本

■3月の集合塾には、ハンドブックと上記4冊の、計「5冊を ご持参ください」。■

真・報連相の図書を購入して、各2回、読みましょう。ハンドブックに書いていない事例とか、ハンドブックに載っていない解説などが書かれています。真・報連相研修のシニア講師の必携・必読の図書です。

~~~~~

上の2冊は、アマゾンで購入できます。

シニア講師（候補）対して失礼ですが、アマゾンで図書の購入をしたことが無い人は、この際アマゾン体験をしてください。アマゾンへは日本報連相センターのHPから入れます。

『職場の報連相 基本のキ』は、アマゾンでは購入できません。JTEX社の通信教育の教材テキストだからです。通信教育を受けられる人だけが入手できる本です。会員の中には実際に通信教育（9450円）を受けられた方もおられます。

この度は、著者の立場でJTEX社にご無理をお願いして一定の部数を入手しました。シニア講師塾生には3000円でお分けいたします。

■希望者は、メールで糸藤宛にお申込みください。■

（JTEXのテキストは部数に限りがありますので、すでに持っておられる人は、塾生でも申し込みをご遠慮ください）

~~~~~

●DVDの副読本『上司と部下の真・報連相』をお持ちでない人は、PHPへ注文してください。注文先は、日本報連相センターのホームページにあります。

「ハンドブック」が真・報連相コンテンツの基本ですが「ハンドブック」をより深く理解するための自己学習の期待です。

- 「深い穴を掘るためには、広い穴を掘れ」という名言を聞いたことがあります。

=====

- 11/1メールの【期待1】の詳細です。

3月の集合塾までに数か月あります。その間に、自分が講師として「真・報連相研修」を”有料”で最低1回は実施しましょう。

名称は、何でもよいのです。たとえば営業研修というタイトルで、そのなかに素材として真・報連相を取り入れていれば真・報連相研修というわけです。講師料をいただいて実施するのが望ましいのです。

または、1時間～3時間の「講演」を実施されますよう、期待します。シニア講師（候補）として講師料をいただいて有料で実施されることを期待します。

または、”無料”で知り合いの社長様とか、研修担当責任者に頼んで、その会社で研修か講演を実施されますよう、期待しています。

または、家族や友人知人を前に講演の練習を 実戦しながらに実施してください。無料というわけにはいかないでしょう。温泉旅行（？）とか何かを約束して何らかの対価を払うとしっかり聴いていただけたと思います。ダメ出しも頼んでみてくださいね。

~~~~~

- 「自ら機会をつくり、機会によって自らを変えよ」

リクルートの創業社長 江副氏の言葉です。名言です。

~~~~~

- [質の高いシニア講師]

= [A質の高いコンテンツ] × [B質の高い研修の進め方] × [C自分販売]

上述の【期待1】は、この式のC[自分販売]のことです。

~~~~~

コンサルタントとして著名な(株)武蔵野の社長小山 昇氏
の名言をご紹介します。(同社は NHC の法人会員 104 です。)

● 「作っただけでは製品だ。売れてこそ商品だ。」

・ 上記の式でいえば $A \times B$ は”製品”です。

$\times C$ で真・報連相”商品”になります。

研修の場合には、講師自身が商品の重要要素だからです。

ハンドブック 10 回読破は、製品づくりの近道です。それを商品にするには、

売らなければなりません。では どうすれば売れるのか。これは誰にとっても

楽な道はありません。 「売ろうと 思わないけませんわな・・・」

と、松下幸之助さんなら言われるかも知れませんね。(参照：ハンドブック 42 ページ)

~~~~~

自分販売について、私は語るべき体験を持っていません。「プロ講師になる本」の  
類書は 20 数冊持っています。その中で、私にとってヒントになることが沢山書いて  
あった本は、次の 2 冊です。(私の場合は、ですが)

#### 『じつは稼げる[プロ講師]という働き方』

(濱田秀彦著 (株)阪急コミュニケーションズ刊)

(注：濱田さんは、会員 106 です)

#### 『もう、資格だけでは食べていけない』

(横須賀てるひさ著 すばる舎刊)

以上です。

日本報連相センター 糸藤正士から

\*\*\*\*\*

【4】2011/11/01 発信

【件名】 塾生 荒木さんと 天野さん からのメール転載

／ (塾生の皆様と全員全員へ メールングリストで情報を共有化)

シニア講師塾 塾生の皆様へ、 会員の皆様へ お世話になります。糸藤です。

会員のなかには、

私の推定ですが、ハンドブックの10回読破を完了されている人が、現在までに約25名おられます。その中で、最近、10回読破されたお二人を、私がいただいたメールからご紹介します。参考情報です。お二人ともシニア講師塾の塾生です。  
(メールの(部分)転載はご本人の了解を得ています)

=====

① 【10回読破された 荒木さん 302 です。】

~~~~~

糸藤さま (荒木さんからの10月29日発信メールから転載)

「ハンドブック9回目に取りかかったところです。

今月中に10回読み切ります。」

以上これからもよろしく願います。

荒木 義雄

~~~~~

糸藤さま (翌日の10月30日発信メールから)

本日夕食前に10回目を終了しました。

以上10月の最終報告とさせていただきます。

よろしく願います。

荒木 義雄

=====

② 【10回読破された 天野さん 319 です。】

●ハンドブック10回読破済み。

2度目の10回読破にチャレンジ中●

~~~~~

糸藤さん (天野さんの10月30日発信メールから転載)

報連相セミナーを受注する前の段階では、4回読くらいでした。

受注してから1ヶ月強で、残り6回読を読みました。

短期間で一気に読みました。

ただ、仮にセミナーを受注しなかったとしても、遅かれ早かれ

10回読破していたと思います。

勉強になることが多かったので3、4回程度で止める気は

なかったです。ただ、ペースはゆっくりだったかも知れませんが・・・。

●なお、今は新しい版のハンドブック2回目の10読を目指して
読み進めています。 天野 勉 319（シニア塾にも参加します）

~~~~~

下記は、最初のメール全文です。（天野さんの、9月22日メーリングリスト投稿の写し）

●とにかくハンドブック、みるみる、DVD副読本を読みました。  
（ハンドブック10読 達成！） 天野

~~~~~下記は、天野さんからの2012/9/22メーリングリスト投稿の写し~~~~~

全国の会員の皆様

おはようございます。 大阪の天野勉（NHC-319）と申します。
いつも皆様のメールから刺激を受け、また勉強させて頂いております。
今回は、大変小規模ながら大阪のある社会人勉強会のような場で、報連相セミナーを
させて頂いたので、その事を報告させて頂きます。僕のような経験の浅いものの経験
ですが、お伝えすることで何か皆様のきっかけになればと思っております。

●セミナー概要

コミカレOSAKAというワークライフバランスコンサルタント
が主催する社会人勉強会で、昨日の参加者は15名ほどでした
（NHC会員の今岡さんもお出席いただきました）

時間は、約70分ほどのコンパクトなものでした。DVDを使って、3つの視点、
3つの深度を中心にはなし、経営者が何人か参加していたので、企業・組織内で
報連相を展開するための手作りレベル表についてもお伝えしました。

●事前準備

とにかくハンドブック、みるみる、DVD副読本を読みました。
（ハンドブック10読 達成！）

あとは、関西支部長の中富さんの事務所を訪問させて頂き、詳細のアドバイスを
頂きました。NHCの互惠の精神のありがたさをあらためて実感いたしました。
（中富さんは、全国どこでもいつでも相談に応じて頂けるそうです！）

●参加者の反応

参加者の声としては、以下のような内容がありました。

「報連相のノウハウを詳しく話すセミナーなのかと思っていたが、もっと深いところに注目しており、仕事全体で役に立つ内容だった」

「部下の報連相をどうしようかと思って参加したのだが、自分のことを振り返るきっかけとなった」

受講者の方のメモが一番走ったのは、「カルテを早く」を見た後、3つの深度について説明した時でした。経営者、管理職の方が多かったので、自分への気づきがあったのだと思います。また今度、詳しく話しましょうという経営者の方もいらっしやり、「真報連相は売れる！」（博多の山内さんの名言）を痛感。

以上、3点にまとめて報告させて頂きました。

ハンドブックにしてもDVDにしてもコンテンツが良いので、講師のレベルがイマイチでもセミナーとして形になることを実感しました。

（セミナー直前にNHCの桑野さんが、「真報連相は外れがない」とFBでコメントしていただいたのですが、その通りです）

仕事の都合で全国大会に出席できないのが、大変残念なのですが、全国の会員の皆様と一緒に今後も「真報連相」の発展に向け、様々な取り組みをしていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

【5】2011/11/02 発信

【件名】 「シニア講師塾」メーリングリスト情報へ返信 / 五十嵐 仁 さんから

／（塾生の皆様と全員全員へ メーリングリストで情報を共有化）

糸藤様、シニア講師塾 塾生の皆さま、 会員の皆さま

NHC北海道支部、五十嵐です。

糸藤さん、NHC会員のみなさん、いつも様々なご意見や有益な情報、ご体験をメーリングにご提供いただき、ありがとうございます。

私は今回のシニア講師塾、まことに残念ながら参加申込みができませんでした。

なぜなら、最初に日程を伺った段階で、2社の大事なお客様の研修日程と

ぶつかってしまっていたからです。特に1社は土曜日でなければならないというお客様でした。

ところが、その後その1社がキャンセルになりました。
こうなると調整に可能性がでてきました（つい先週のことです）。
しかし、既にシニア講師塾は、定員一杯でキャンセル待ちです。
どちらにしても参加申込み確定はできない状態です。

しかし、先月10月2日の糸藤さんのメーリングへの投稿を拝見して
3月9日・10日の研修当日に参加できなくても「シニア講師塾」の受講と
修了はできるのだ、と思いました。

そして、今回11月1日の糸藤さんのメールを拝読して革めてその気持ち
を強くしております。研修当日に受講生として参加できる可能性は数%
としても、「(一人)シニア講師塾」に参加することとして、今日から、
下記のことをスタートさせます。

【期待1】 3月までに、「真・報連相の研修」か、「講演」の実施。

これはおかげさまで、今月から毎週新人フォロー研修で報連相を
12月までの7回(1日)、12月に2時間(裁判所の中堅職員)、来年1月末
に2日間、旭川中小企業大学校での真・報連相研修、2月に札幌市主催
の市内企業対象の1日間研修が入っております。

【期待2】『真・報連相読本』(鳥影社)・・・経営幹部・管理者用
『報連相の技術がみるみる上達する』(日本実業)・中堅用
『職場の報連相 基本のキ』(JTEX社)・・・初級社員用
『上司と部下の真・報連相』(PHP)・・・DVDの副読本
上記4冊を3回(期待より1回上にして)読了する。

【期待3】ハンドブック10回読了する。

次に【期待外(以上)】として、

一つは、同じ事例でも、階層別(対象者)別に合った展開ができる
ようになる。

二つは、階層別（対象者別）に事例をアレンジして研修の展開ができるようになる。

三つは、オリジナルの事例及び研修資料を3つ以上つくる。

最後に、自らの報連相実践のレベルアップです。さすが真・報連相の実践者と言葉で明確に10回以上言われることです。これは周りの人の評価ですので、実践あるのみです。

【期待外（以上）】*この外は（他にという意味で、はずれ、ではありません）を書きながら、少しプレッシャーを感じている自分（自己）です。

私の「シニア講師塾」への受講「目的」は、北海道で「報連相研修」といえばインタフェース（五十嵐）へと言われるくらい、お客様に役に立つ研修とサポートができるようにレベルアップをすることです。

「相手」は、すぐそばの弊社取締役（唯一の社内メンバー）、そしてパートナー先、そして、お客様です。

「シニア講師塾」に種々の事情で参加されない方、一緒に学んでまいりましょう。参加される方々にも、メーリングその他を通して、よろしく願い申し上げます。

ずいぶん長くなったメールを最後までお読みいただき、まことにありがとうございました。

【6】2011/12/01 発信

〔件名〕 「シニア講師塾」 塾生への参考情報（期待） 3回目

／（塾生の皆様と全員全員へ メーリングリストで情報を共有化）

お世話になります。糸藤です。

~~~~~参考情報です~~~~~

■ 3月の「集合塾」に参加申し込みされた方への「期待」

（今回が、 第3回目の参考情報（期待）です。 12月1日）

~~~~~

【期待1】

日本報連相センターのホームページに会員専用ページがあります。
シニア講師塾生も一般の会員も、ここから諸情報を得てください。
パスワードが わからない人は事務局へお尋ねください。

● 会員専用ページから、次の資料を印刷（プリント）してください。

- ① 入会時に手にする、「研修用配布資料61枚」をプリント
- ② 「演習問題集」をプリント
- ③ 「著作権に関する基本ルール」をプリント

上記の3点をプリントしたら 目を通していただき、3月の集合塾までに
熟読されますよう、期待します。そして、この3点は、「集合塾へご持参」ください。

=====

【期待2】

下記のホームページを開いて、お暇の折に内容をご一覧ください。
ご案内するワケを自問自答して下さるよう期待します。

~~~~~

- ① [「自己」を知る手がかりとして:]

~~~~~

● 性格（パーソナリティー）から

HRD(株) DiSCで学ぶ <http://www.hrd-inc.co.jp/website/company.html>

● 周りの人との関係から 自己に気づく 「Tグループ」 研修を受ける

聖マーガレット生涯教育研究所 SMILE <http://www.2010newsmile.org/>

● 「自己」に 垂線を降ろす 「内観」

「内観」する道場の 案内情報 <http://www.motion.ne.jp/naikan/>

~~~~~

- ② [その他 真・報連相の理解を深める参考情報]

~~~~~

● アサーションを学ぶ （アサーションは、相談の4度）

NPO法人アサーティブジャパン <http://www.assertive.org/>

● ファシリテーションを学ぶ

NPO法人 日本ファシリテーション協会 <https://www.faj.or.jp/>

● コーチングを学ぶ PHPの講座↓

<http://www.php.co.jp/seminar/coaching.php>

(真・報連相のDVD制作会社であり、法人会員なのでPHP
をご案内します／その他のコーチング情報はネットで…)

● MTP (管理研修プログラム) インストラクター養成講座

／ 日本産業訓練協会ホームページ

<http://www.alpha-net.ne.jp/users2/sankun/tokyo/kokaiMtp-i.html>

● MBC (管理者基礎研修) / リクルート

<http://www.recruit-ms.co.jp/open-course/dtl/K1036/>

● アクションラーニングを学ぶ

NPO法人日本アクションラーニング協会 <http://www.jial.or.jp/>

● 「システム思考」を学ぶ / 「環境」

有限会社チェンジ・エージェント <http://change-agent.jp/>

● 人間関係トレーニングの古典的な教材

「クリエイティブOD」を入手する

プレスタイム社 <http://presstime.co.jp/company/>

~~~~~

■ 早くも年末ですが、シニア講師塾の「集合塾」は、3か月以上先のことです。

塾生として、自己学習を積んで参加されますと、その程度に応じて集合塾で  
得られる”情報の質・量”が大きく違ってくると思います。

(「情報意味づけるのは自己」です。／レベル表・連絡の5度)

まだ、時間は十分ありますので、がんばってください。

■ ハンドブック10回読破・・・

いかがでしょうか。「自己目的」を明確にされますと、楽しくチャレンジできると思います。

■ 塾生への期待を 今回で、3回発信しました。これは、  
「参加条件」でもなく、「義務」でもありません。 「期待」です。

~~~~~

以上です。 日本報連相センター 糸藤正士から

【7】2012/01/03 発信

【件名】 「シニア講師塾」塾生への参考情報（期待） 4回目

／（塾生の皆様と全員全員へ メールリストで情報を共有化）

あけまして おめでとうございます。 糸藤正士

「真・報連相研修 シニア講師塾」塾生の皆様 と 会員の皆様へ

／ 添付5点（この内2点を、ここではこの文章の中に貼り付けています）

■ 3月の「集合塾」に参加申し込みされた方への参考情報（期待・第4回目）です。

~~~~~

【期待1】 下記動画をご一覧ください。（既報情報ですが）

① [動画]

ツタヤ砺波店での 真・報連相の職場展開について： まず、

●DVD副読本のp.57～p.60を読んでから、

●次に、動画をみてください。（動画は中部支部長の中村元一さん作です）

~~~~~

■ ツタヤ砺波（となみ）店が、真・報連相でグランプリ獲得動画①②

グランプリ①

<http://www.youtube.com/watch?v=YvsmjKUVROA&feature=related>

グランプリ②

<http://www.youtube.com/watch?v=h05Ap82as7k&feature=related>

●ツタヤ砺波店では、仕事の振り返り（2ヶ月に1回）を継続（4年間継続。現在も実施中）。

／ツタヤの中内さん（会員）が、昨10月6日に投稿されたメールリストの記事を読まれた人も多と思います。添付3点は、その投稿に添付されたものです）

③振り返りミーティング

<http://www.youtube.com/watch?v=ic2iilsdviC8>

~~~~~

【説明】

研修は「手段」です。まず、そこでの目的に照らして、研修という手段がよいのか他の手段がよいのか・・・手段の選択が必要です。

研修を選択する場合に、その研修に”素材”としての「真・報連相」をどの程度、どのように取り入れるか、この点の検討が必要です。

相当程度取り入れた研修の場合、あるいは、全面的に取り入れた真・報連相研修の場合には、（個別研修にはそれぞれの目的がありますが）”一般的に言えば”、その目的は、職場の「仕事の進め方の質を高める」ことです。

”人が育ち成果があがる職場づくり”です。

（「真・報連相」とは、「質の高い仕事の進め方そのもの」なり）

この職場展開の実践例としては、ツタヤ砺波（となみ）店様と、大企業では三菱化学(株)様の2例が参考になります。この2例は3月の塾で説明いたしますが、先行してツタヤ砺波店の事例を参考情報としてお知らせする次第です。

~~~~~

【期待2】

真・報連相研修シニア講師に成るために、参考になりそうな図書の紹介です。添付です。（注：この添付は、このメールに続いてコピー貼り付けしました／糸藤）入門的基本図書として糸藤の知っている本を並べました。全部読んでほしい、という期待ではありません。

参考情報としてご一覧・ご利用ください、という意味です。

（アサーションの本 一冊だけは 必読です。）

もちろん、これ以外にも私の知らない有益図書があります。集合塾では、参加者の皆様同志で情報交換・情報収集されますよう期待しています。

=====お知らせ=====

【ご案内】

シニア講師塾へ追加で数名参加できます。3月9日・10日の集合塾への参加申し込みが、開催6ヶ月前でしたので、申し込み後 ご家庭の事情とか、心境の変化などで 参加辞退者がありました。

当初の定員30名。 修正後定員42名。現時点で、申込者40名です。

なお、参加意思の確認に対して 未回答者が3名あります（この3名は流動的です）。

●もし 現時点で参加を希望される方がありましたら、糸藤個人アドレス宛に 早目に ご相談ください。（このような塾の開催は、一回限りです。）

以上です。 時節柄 ご自愛くださいませ。

日本報連相センター 糸藤から

~~~~~下記は、1/3メーリングリストの添付資料から、コピー・貼り付けしたもの~~~~~

〔1月3日現在〕

2012年3月9日・10日 シニア講師塾（集合塾）参加者

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 1 西山雅敏さん (57) 熊本     | 22 阪口 武さん (99) 大阪          |
| 2 朝比奈広志さん (278) 東京   | 23 山下洋史さん (298) 仙台         |
| 3 波多野勝則さん (1) 広島     | 24 小田 護さん (154) 上海         |
| 4 藤田かずえさん (27) 名古屋   | 25 林ひな子さん (346) 寝屋川市       |
| 5 中富正好さん (113) 大阪    | 26 船間廣治さん (157) 名古屋        |
| 6 戸谷一彦さん (310) 東京    | 27 延堂良実さん (133) 大阪         |
| 7 天野 勉さん (319) 大阪    | 28 濱田佳之さん (345) 川崎市        |
| 8 辻本真由美さん (193) 大阪   | 29 桑野里美さん (201) 大阪         |
| 9 外村妃彩枝さん (87) 名古屋   | 30 増田伸子さん (140) 大阪         |
| 10 徳永智久さん (142) 岡山   | 31 松島高弘さん (282) 東京         |
| 11 藤井えつこさん (272) 大阪  | 32 宮田 元さん (185) 大阪         |
| 12 羽田 優さん (91) 東京    | 33 滝本孝二さん (293) 愛知県四日市     |
| 13 猪原美恵さん (210) 大阪   | 34 五十嵐 仁さん (28) 札幌         |
| 14 高野 繁さん (149) 浜松   | 35 永安繁幸さん (371) 東京         |
| 15 上村幸司さん (252) 高松   | 36 謝 世晶さん (269) 大連         |
| 16 荒木義雄さん (302) 奈良   | 37 歐 元韻さん (327) 台湾         |
| 17 塚本 靖さん (93) 東京    | 38 猪原美恵さん (210) 大阪         |
| 181 坂口育生さん (119) 和歌山 | 39 梁川 正さん (216) 岐阜         |
| 19 紺野 諭さん (111) 千葉   | 40A 三宅佳子さん (322) 大阪 3月9日   |
| 20 濱田智司さん (131) 和歌山  | 40B 須山由佳子さん (227) 浜松 3月10日 |
| 21 諸橋隆夫さん (279) 所沢市  | 〃                          |
| 〃                    | 〃                          |
| ~~~~~                | =====                      |
| 〃                    | 〃                          |
| 初日 3月9日 (金) 〃        | 2日目 3月10日 (土) 〃            |
| 〃                    | 〃                          |
| 開場時間: 9時10分          | 開場時間: 9時10分                |
| 受付開始時間 9時30分         | 開始時間 9時30分                 |
| 開始時間 10時30分          | 終了時間 16時30分                |
| 終了時間 17時30分          | 〃                          |
| 懇親会開始 17時45分頃        | 〃                          |
| 懇親会終了 18時50分頃        | 〃                          |

●33番・滝本さんの訂正です。

／正しくは滝本幸二 三重県四日市です／失礼しました。糸藤

~~~~~下記は、メールの添付資料「講師本一覧」をコピー・貼り付けしたもの~~~~~

シニア講師塾 参考図書

- 【必読図書】・・・1冊だけです。次の1冊は、3月の集合塾までに読んでください。
アサーションの本です。アサーション（自己主張）は、
質の高い報連相のために必要です。[相談の4度]

『気まずくならない！自己主張のしかた』（森田汐生 大和出版）

NPO法人アサーティブジャパンから購入→ http://www.assertive.org/d/d_1_10/

もちろん、アマゾンからも購入できます。↓

[アマゾン 気まずくならない自己主張のしかた] でクリックです。

- =====
- 【参考図書】・・・下記は、参考図書です。●印が、有効度が高いと思います。
名経営者の本とか、経営学・経営思想の古典といわれるような本は、ここでは対象外としてとりあげていません。その分野でのバイブルとされるような本も挙げていません。
シニア講師塾での入門的な参考図書として、私の知っている本をならべました。
下記の図書の中には、アマゾンでも古本でないと入手できない本も含まれています。
- ~~~~~

アサーション（相談の4度）

- 【必読】『気まずくならない！自己主張のしかた』（森田汐生 大和出版）
『気持ち伝わる話し方』（森田汐生 主婦の友社）
『アサーショントレーニング』（平木典子 日本精神技術研究所）

積極的傾聴（相談の3度）

- 『心の対話者』（鈴木秀子 文春新書）
『プロカウンセラーの聞く技術』（東山紘久 株創元社）
- ~~~~~

ファシリテーション ・ コーチング（研修の進め方全般）

- 『ファシリテーション入門』（堀 公俊 日経文庫）
- 『コーチング入門』（本間正人・松瀬理保 日経文庫）
『コーチング』（榎本英剛 PHP研究所）

~~~~~

### アクションラーニング

- 『質問会議』(清宮普美代 PHP研究所)  
『アクションラーニング実践術』(横山太郎)
- ~~~~~

### 対話 (相談の5度)

- 『不都合な相手と話す技術』(北川達夫 東洋経済新報社)  
『ニッポンには対話がない』(北川達夫・平田オリザ 三省堂)  
『ダイアログ』(中原 淳 長岡 健 ダイヤモンド社)
- ~~~~~

### 異文化マネジメント (真・報連相を客観的に理解するために)

- 『異文化インターフェイス経営』(林 吉郎 日本経済新聞社)  
『文化を超えて』(エドワード・T・ホール 岩田慶治/谷 泰 訳 TBSブリタニカ)  
『グローバルマネジメント』(クリフォード・クラーク  
/ダグラス・リップ 賀川 洋 (株)アспект)  
『アメリカ人と働くための 三つの価値と七つの法則』(賀川 洋 (株)スパイク)
- ~~~~~

### プロ講師本 と 自分販売

- 『プロフェッショナル・トレーナーへの道』(株エイチ・アール・ディー研究所、  
一般社団法人MOTコミュニティ)  
『じつは稼げる[プロ講師]という働き方』(濱田秀彦 (株)阪急コミュニケーションズ)  
『もう資格だけでは食べていけない』(横須賀てるひさ (株)すばる舎)
- ~~~~~

### その他

- 『マネージャー・どう行動すべきか』(畠山芳雄 日本能率協会マネジメントセンター)
- 『世界標準の仕事術』(キャメル・ヤマモト 日本実業出版社)
- 『不機嫌な職場』(高橋克徳・河合太介・永田稔・渡部幹 講談社現代新書)  
『なぜあの人の解決策はいつもうまくいくのか』(枝廣淳子・小田理一郎 東洋経済新報社)  
『企業内人材育成入門』(中原 淳編著/荒木淳子・北村士郎・長岡 健・橋本 諭  
ダイヤモンド社)  
『和の実学』(大和信春 (株)博進堂)

~~~~~

著作権

- 『著作権とは何か』 (福井健策 集英社新書)
『誰でも分かる著作権』 (岡本 薫 (財)全日本社会教育連合会)

以上

【8】2012/01/20 発信

〔件名〕 「シニア講師塾」3/9・10 集合塾参加者へ

プログラム、事前学習、自己紹介 などのお知らせ

(注：塾生用メーリングリストの掲載情報ですが、この文書の読者の便宜のため、ここに記載しました／糸藤)

お世話になります。糸藤です。お変わりなく ご活躍のことと存じます。

3月のシニア塾（集合塾）は、未だ少し先のことですが、

プログラムの2日間の内容を整理しましたので、添付でお知らせいたします。

~~~~~

なお、少し早目ですが あわせて 事前学習のシート2枚も 添付しました。

- ① 自己紹介シート
- ② 悪い報連相の実例記入シート

の 2枚です。

参加者42名 7グループです。参加者多数につき、交流のためグループ変えを途中でいたします。その際にも使用しますので ①の自己紹介シートは15枚コピーして持参ください。(原本を入れて16枚)。

②の 悪い報連相・・・シートは、事例研究の素材としても活用します。

こちらは、コピー8枚原本を含む9枚を 持参してください。

以上です。

日本報連相センター 糸藤正士から

\*\*\*\*\*

# シニア塾 塾生の自己紹介シート

次の順番の人が司会と時間管理をしてください

一人2分間 ①黙読。 ②自己目的を一言 ③最近或いは今、何に関心を持っているか一言

私 の 紹 介	氏名	任意記入・ 年齢	資格・特技など
	趣味・お酒・煙草・・・		
	性格：		
	座右の銘	無い	ある 「  」
今までで一番楽しかったことは：			

研 修 講 師 体 験	今までに講師として実施してきた研修・講演は：
	これから やりたい研修・講演は：

自 己 目 的	3月9日・10日シニア講師塾「集合塾」へ参加する <u>自己目的</u> は：
関 心	最近或いは、今 <u>関心</u> を持っていることは：

●（グループ変えしますので）各自コピー15枚（原本含む16枚）とって、持参ください。

平成 24 年 3 月 9 日・10 日  
@名古屋「ウインクあいち」

NHC

## シニア講師塾（集合塾）・プログラム概要

開 場	第一日 3月9日（金）	第二日 3月10日（土）	9:30
09:10 受付開始 09:30	(会場準備に、ご協力ください) (会員の交流タイム)	●真・報連相の職場展開実践情報 ①ツタヤ砺波店 ②三菱化学(株)	
10:30 開始	アイスブレーキング 発生練習 自己紹介（自己目的と関心）	●事例研究② 事例作成の研究	
11:00	●真・報連相とは何か・・・ 数問質問します。個人・グループ討議 ・新キーワード 「？」	●[4度～5度]のコンテンツ（項目） について理解を深める ・個人研究・グループ討議 (素材は、事例／シート／DVDなど) ・自分マニュアル作成 実習	
12:00	昼食・休憩（50分）	昼食・休憩（50分） [全員写真]	
13:00	●アサーション学習入門（13:30～） (NPO 法人アサーティブジャパンから) ゲストスピーカー 牛島のり子 先生 [レベル表相談の4度の項目です]  (～14:50)	[つづき] ・講師からのコメントと解説	
14:00		●真・報連相研修の進め方 ・質疑応答／ 事前送付資料に基づく	
15:00	●演習問題 体験／ 個人研究・グループ討議 進め方の学習／問題作成実習	● 質疑応答 全般  ● 振り返り／個人・グループ	
16:00		・まとめ（感想発表など）	
17:00	●事例研究①  ・ 一日目の 振り返り	注：① 著作権については、随所で 例示して、説明します ② 真・報連相開発の源流・経緯 などについても、随時触れます	16:45
17:30 18:50	[同じ会場で、有志懇親会]	■プログラムは、状況によって変更しますので 予めお断りいたします。ご了承ください。	26

- ▼事前学習（「自己紹介」コピー15枚 と 「悪い報連相の実例」コピー8枚）を持参  
▼必持参品（図書、研修シート、演習問題集、著作権ルールなど）をお忘れなく…



\*\*\*\*\*

【9】2012/02/03 発信

〔件名〕 「シニア講師塾」集合塾参加者の皆様へ 自己紹介文を・・・

(注：塾生用メーリングリストの掲載情報ですが、この文書の読者の便宜のため、ここに記載しました／糸藤)

~~~~~お知らせ(期待) 2点 です~~~~~

【1】自己紹介文 を 投稿して知り合いになったり、知り合い度を深めてください。

● 3月の集合塾まで約一か月あります。この間に1回～数回メーリングリストへ自己紹介文を投稿されますよう、お勧めいたします。

● 形式は自由です。

心境を日記風に記してもよいし、写真付きの一文を添付してもよいし、シニア塾への期待と準備の現実を語ってもよいし、最近の身辺雑事を綴ってもよいのです。要するに 印象に残るような自己紹介が望ましいのです。

先日、発信しました「自己紹介シート」(当日持参用)を利用されてもよいのです。

● この自己紹介の「目的」は；

参加者が、42名という多数になりましたので、初めて会う人も多いと思います。

当日名刺交換してからでは、知り合いづくりの効率が悪いのです。「知り合いづくりのスタートを早める」のが目的です。名古屋へ来られるまでに、メーリングリストの上で自由に自己紹介して、旧知の仲になって欲しいわけです。

■相手からみて、会ってみたい人に成るための事前自己紹介です。事前に印象深い自己紹介をしておけば会場で、声をかけてもらえるでしょう。

内容で印象づけたり、投稿回数で印象づけたり、工夫してください。

知り合いには、報連相しやすいものです。「俺は 有名人だから自己紹介は不要」、と言わずに、皆さまの積極的な一文を期待しています。

=====

注： 塾生各位は、詳しい自己紹介文を「シニア塾(集合塾)」参加者専用の

メーリングリストに投稿されました。3回自己紹介された塾生もあり、
2回自己紹介を投稿された塾生は相当数ありました。
お互いに、事前に自己紹介し合っていたので、3月9日・10日は、
知り合い作りに大変有益・有効でした。／ 糸藤記

=====

【2】 レベル表を添付しました。プリントしてください。

(注：レベル表の添付はここには掲載しません。ハンドブックをご覧ください／糸藤)

●「レベル表の59項目」について、相手にわかるように 説明できるかどうか、
自己判定してください。相手とは、受講者の中堅社員、管理職、中小企業の社長、
大企業の人材開発責任者などを各自で想定してください。

項目によっては、5分間ぐらいで説明できるでしょう。

項目によっては、30分間～1時間ぐらい必要かもわかりません。

~~~~~

●鉛筆で 全59項目に印をつけてください。

○・・・説明できる（自信あり）

△・・・一応説明できる（すこし不安）

×・・・説明できない（自信がない）

■印をつけた「レベル表」を 3月の集合塾へ持参してください。

~~~~~

以上です。 よろしく願いいたします。 糸藤正士から

【10】2012/02/14 発信

【件名】 「シニア講師塾」参加者の皆様へ / 必読参考資料です。

『真・報連相研修の進め方について 私が考えていること』 (糸藤著)

／ (塾生と会員全員へメーリングリストで情報を共有化済み)

シニア塾塾生と 日本報連相センター会員の皆さまへ
お変わりなく、ご活躍のことと存じます。 糸藤です。

~~~~~

● 『真・報連相研修の進め方・ハンドブック』（仮称）

諸事情で3月の「集合塾」へ参加できない会員各位は、印刷して 一読  
くだされば幸いです。「集合塾」へ参加するだけが、シニア講師になる道で  
はありません。

自問自答、自学自習が真・報連相シニア講師への王道です。シニア講師は、  
養成はできないのです。自分で成るものです。情報は、共有化いたします。

~~~~~

● 3月の「シニア講師集合塾」に参加される塾生は必読です。熟読してくだ
さるよう期待します。 内容に、賛成できるところもあり、「異見」が湧いて
くる部分もあるでしょう。

ご自分の意見を持ち、疑問点、質問事項をもってご参加ください。塾では、
熟読されていることを前提に、いきなりグループ討議に入ります。

「まず、P.1～p.10までの範囲について・・・各グループ内で議論して
ください。」 （次は、P.11～P.20の範囲について、同様に・・・）

というような 進め方のイメージです。（当日その場で読んでいただく時間がないのです）

この資料はプリントして、当日自分用のテキストとしてご持参してください。

~~~~~

● 事前に読んでいただくために、推敲不十分なままで、早目に原稿書きを打ち  
切って、送信いたします。誤字、脱字、変換ミス、意味不明点などがありましたら、  
事前でも、当日でも ご指摘くだされば助かります。

この点、よろしく願いいたします。

なお、集合塾までには、未だかなり日時がありますので、上記のご指摘と、読後  
のご感想などをメーリングリストへ投稿して下さると、ありがたいと思います。

以上です。 よろしく願いいたします。 糸藤正士から

\*\*\*\*\*

【11】2012/02/27 発信

〔件名〕 「シニア講師塾」参加者の皆様へ 自己紹介文を・・・

／（塾生と会員全員へメーリングリストで情報を共有化）

シニア講師塾塾生の皆さま 会員の皆さまへ

お世話になります。糸藤です。 お変わりなく ご活躍のことと存じます。

シニア講師塾の資料を送ります。 1点はアドレス記載。 2点添付です。

~~~~~

(1)

一つは、先般送信しました「(仮称)ハンドブック」の改訂版です。

少しでも完成度を高めた資料で、塾の内容を充実させたいという思いから、先般送付済の原稿を修正、加筆した改訂版です。すでに、旧版をプリントアウトしてお読みになっていると思います。 再度の印刷になり、大変恐縮ですが、3月の塾にはこのメールに添付しました。改訂最終版をプリントしてご持参ください。 ご迷惑をお掛けしますが、趣旨をご理解賜り、よろしく願いいたします。

改訂版のタイトルは

『真・報連相研修の進め方について私が考えていること』・・・です。

~~~~~

一般会員の方へ

諸事情でシニア講師塾に参加できない会員の方々も、添付の資料をご一読ください。質問などがありましたら、メールか電話でお寄せください。

集合塾に参加しなくても、シニア講師になるのは本来自学自習・自問自答が基本ですので、ともに前進していきましょう。事後には、諸情報を共有化いたします。

シニア講師は、「養成」はできないのです。シニア講師は自分で成るものです。

~~~~~

(2) 添付(その1)は、 塾で使います ワークシートです。

「自分マニュアル」作りのワーク用 の「用紙原稿」です。

こちらは、プリントなりコピーなりして 当日ご自分用に持参してください。

コピーは、4枚です。・・・原本を含んで 5枚 をご持参ください。

よろしく願いいたします。

~~~~~

(3) 持参していただく学習のための資料類が 大変多くて重たいので恐縮しています。シニア講師塾ですので、総合的に議論、質疑応答などを進めるために、このように沢山の持参物をお願いするようになりました。

なにとぞ ご理解を賜りますよう お願いいたします。

- 必要持参品の「チェックリスト」を 添付（その2）しました。

あちこちに話が飛んで、いろいろな資料を都度開いていただくようになります。隣の人に資料を見せてもらう状況になりますと、お互いに迷惑になりますので、必ずご持参くださいますよう、重ねてお願いいたします。

~~~~~

2日間のなかで、当方から配布する資料も相当数あります。ただいま、印刷とか、セットとか、もろもろの備品準備も含めて段取りを進めている状況です。一番気がかりなのは、私自身の健康保持です。現状横ばいで当日を迎えることを祈っています。

インフルエンザも流行っていますし、お互いに気を付けましょう。何か、ご質問、ご要望などがありましたら、お知らせください。

以上です。 よろしく願いいたします。
時候の変わり目です。ご自愛ください。

日本報連相センター 糸藤正士から

3月のシニア講師塾「集合塾」への持参品です。

シニア講師塾 塾生の皆さまへ

資料を沢山持参していただくことになり、重たいので大変恐縮していています。隣の人に見せてもらっては、互いに迷惑をかけることとなりますので、言いづらいのですが、必ずご持参くださいますよう、よろしくお願いいたします。(糸藤)

持参品に漏れがないか、確認用に下記のチェック表をご利用ください。

(1) 自作物のコピーなどです。

| | ✓印をつける | 使用日 |
|---------------------------------|--------------------------|------|
| ①「真・報連相のレベル表」・・・○△× 印をつけたもの・・・ | <input type="checkbox"/> | 10日 |
| ②「自己紹介シート」・・・コピー15枚(原本含め16枚)・・・ | <input type="checkbox"/> | 9日午前 |
| ③「悪い報連相の実例」・・・コピー8枚(原本含め9枚)・・・ | <input type="checkbox"/> | 10日 |
| ④「自分マニュアル」用紙・・・コピー4枚(原本含め5枚)・・・ | <input type="checkbox"/> | 10日 |

(2) プリントアウトした資料

| | | |
|-------------------------------------|--------------------------|--------|
| ⑤「61枚の研修用シート」・・・ | <input type="checkbox"/> | 9・10両日 |
| ⑥「著作権の基本ルール」・・・ | <input type="checkbox"/> | 9・10両日 |
| ⑦「演習問題集」・・・ | <input type="checkbox"/> | 9日午後 |
| ⑧「真・報連相研修の進め方
について 私が考えていること」・・・ | <input type="checkbox"/> | 10日午後 |

(3) 図書類

| | | |
|---------------------------|--------------------------|--------|
| ⑨『真・報連相のハンドブック』・・・ | <input type="checkbox"/> | 9・10両日 |
| ⑩『真・報連相読本』・・・ | <input type="checkbox"/> | 9・10両日 |
| ⑪『報連相の技術がみるみる上達する』・・・ | <input type="checkbox"/> | 9・10両日 |
| ⑫JTEXテキスト『職場の報連相 基本のキ』・・・ | <input type="checkbox"/> | 9・10両日 |
| ⑬DVD副読本『上司と部下の真・報連相』・・・ | <input type="checkbox"/> | 9・10両日 |

大荷物になりすみません。充実した塾を願ってのことです。ご海容くださいませ。

【12】2012/03/04 発信

〔件名〕 ツタヤ砺波店の

「報連相の振り返り（＝仕事の振り返り）議事録」です

／（塾生と会員全員へメールリストで情報を共有化済み）

会員の皆さまへ お変わりございませんか。 糸藤です。

ツタヤ砺波店の、第26回、報連相の振り返り議事録を転送・添付（添付は、ここでは、下記へコピー・貼り付けました／糸藤）でお知らせします。
中内より子さん（230）から、同店で2ヶ月に1回4年間継続されている振り返りミーティングの実施報告として送られてきたものです。

真・報連相の実践振り返り＝仕事の進め方の振り返りです。真・報連相の職場での展開の理想的な状況に近づきつつあります。
目的は、組織全体の「仕事の進め方の質を高めること」です。

このような、職場での上司部下が一緒になっての
仕事の進め方＝真・報連相の振り返りの実践・継続を、日常化、つまり現場で、
仕事の質を高めつづける状態をわたくしは「真・報連相」の”**内内製化**”
（ないないせいか）と名付けています。私が 理想としてイメージしている状況です。
添付の議事録を有益参考情報として、ご一読くださるよう期待しています。
シニア講師塾で、この内容を取り上げます。

- （①外部講師が真・報連相研修を実施する
- ② 社内で内部講師が真・報連相研修を実施する
- ③ 各職場で上司部下が一緒に、仕事の進め方を日常的に振り返る・継続する）
- ③が 内内製化状態です。／真・報連相研修の目的です。
目指す状態です。

以上です。 よろしく願いいたします。

中内さんから、糸藤宛に議事録が送られられましたので、貴重な具体的事例

として メーリングリストへ転送・投稿しました。

転送は中内さんご了解済みです。

(「継続」されていること。およびこのような議事録が毎回作成され、記録が残されていることにも 感動します。／ 福島の原子力事故で関係の議事録が無い問題を 思い出します)

日本報連相センター 糸藤正士から

~~~~~ツタヤ砺波店での、「振り返り」議事録です~~~~~

## 第26回 真報連相の振り返り議事録 12年2月13日(月) 16:45~

### 1・真・報・連・相の10か条唱和

- **あいさつ**は、報・連・相のウォーミングアップ。
- 何事も**確認**が大切。
- **相手**に応じてやり方を考えよう。
- 何のためにという**目的**を共有しよう。
- **自己**を含めた全体状況を見よう。
- 上から下へ**報連相**しよう。
- 面談して**直接会話**しよう。(積極的傾聴)
- **質問**で情報の共有化を深めよう。
- 勇気を持って**正直**に伝えよう。
- **座右の銘**を持とう。(〇の中に適切な言葉を入れて唱和しよう)

### 2・真・報連相の学習 もう一度 基本に戻って

#### ===== 報告の1度(初級)

「真報・連・相のハンドブック」引用

(© 原作：糸藤正士)

- ・ 報告は正確にという基本原則をわかっている
- ・ 仕事が終了したら、直ちに命じた人に直接報告している
- ・ 「飛び越し指示」は 直属の上司に即刻報告している
- ・ 結果・経過の順で要領よく報告している
- ・ 5W2Hで、わかりやすく報告している

□ **飛び越し指示**

- ・ 上の上から仕事を命じられたり、斜め上から命じられた場合、命じられたら即刻直属上司に、命じられたという事実とその内容を報告しなければなりません。そして、完了後の報告は、直属上司にはもちろん、命じられた人にも直接報告しなければならないのです。

□ **結果・経過の順で**

- ・ 結果・経過の順で・・・報告はこれが基本です。基本があつての応用です。まず基本を身につけましょう。基本の基本は ? 「正直に報告をする」

□ **5W2H 再考。 5W2Hのもう一つのHは？**

- ・ 5W2Hのもう一つのHは为什么呢。  
How many . . . . . いくらで  
How much . . . . . どのくらいの量で  
How long . . . . . どのくらい長く  
Hospitality . . . . . 親切に  
Honest . . . . . 正直に

**3・報告のしかたについて、今後自分なりに注意していきたいことはなんですか？**

- ・ 5W1Hを意識する。最低でも3Wは入れたい。
- ・ 結果・経過の報告の仕方に気をつける。
- ・ 簡潔にまとめる。(話が長い、前置きが長いと言われないうために)
- ・ うまく伝わっていないときは、頭の中で整理しなおしてから話す。
- ・ 「結論から言うと・・・」を先に口にしてから話し始める。
- ・ 上司の関心ごとを事前に察知し、優先して報告できるようになる。
- ・ 上司、部下がお互いの関心ごとを感じあう。
- ・ 内容のよし悪しに関わらずスピーディに報告する。

**4・12月・1月の間に、問題だった報・連・相を教えてください。**

- ・ Aさん  
完了報告がなく、チェックが遅れた。  
レンタル商品に、「1週間レンタルOK」のシールを貼っておくよう、パートに指示したが、作業後の完了報告がなく(自分も、報告するよう指示していなかった)チェックも忘れていた。次の日にチェックしたら、貼ってないものがあった。お客様がその商品をレンタルする前に気づいたので、お客さまに失礼になることはなかった。あぶない、あぶない。

- ・ Bさん  
 上司から聞かれる前に報告できなかった。  
 ツタヤレコードの売り場の視聴機がこわれ、早く修理しようということになったが  
 その後の行動を上司に報告をすることを忘れてしまっていて、「視聴機 どうなっ  
 た？」と聞かれてしまった。
  
- ・ Cさん  
 3DS本体の置く場所を変更したが、みんなに伝えてなかったため、みんなは売り場の  
 あちこちを探し回り、お客様をお待たせしてしまった。
  
- ・ Dさん  
 上司にはまだまだ報告が足りていなくて、お願い事や相談がうまく出来ていない。  
 特に費用の発生する案件については、自分の思いをうまく伝えられていない。
  
- ・ Eさん  
 パートさんからシフトの変更を頼まれていたが、すっかり忘れてしまっていた。  
 メモを必ず取ること、もしくは直ぐに記入することを徹底していきたい。  
 接客をしていない限りは、直ぐにやることが一番の解決方法。

**追記**

課題を持ち寄って自分の意見を発表し、メンバーの意見を聞いていると、自分の中に  
 内省が起こってくる。それが、真報・連・相で言う「自分を含めた全体状況のみよう」  
 ということなのではないかと思う。「あの時、〇〇さんにはこうして欲しかった。し  
 かし自分はどうだったのだろうか、自分をもっとこうしていたら、状況は変わっていた  
 はず・・・」

振り返りの強みは、ここにある。メンバーの一人一人が未完成な自分に気づいて、  
 お互いに相手を思いやりながら報・連・相を重ねていけば、風通しの良い企業風土が作  
 られていく。近日に入社する新入社員たちにも、確実に伝えていきたい。

以上 (中内より子さん 230 からのメール添付の議事録です)

5・次回真報・連・相の振り返り日は 4月9日 16:45~17:45

(完)

\*\*\*\*\*

平成24年3月9日・10日 名古屋駅前「ウインクあいち」

シニア講師塾「集合塾」参加者名簿

平成24年3月7日現在（最終版）

- |                   |                              |
|-------------------|------------------------------|
| 1 西山雅敏 (57) 熊本    | 22 林ひな子 (346) 寝屋川市           |
| 2 朝比奈広志 (278) 東京  | 23 延堂良実 (133) 大阪             |
| 3 波多野勝則 (1) 広島    | 24 濱田佳之 (345) 川崎市            |
| 4 藤田かずえ (27) 名古屋  | 25 桑野里美 (201) 大阪             |
| 5 中富正好 (113) 大阪   | 26 増田伸子 (140) 大阪             |
| 6 戸谷一彦 (310) 東京   | 27 宮田 元 (185) 大阪             |
| 7 天野 勉 (319) 大阪   | 28 滝本幸二 (293) 愛知県四日市         |
| 8 外村妃彩枝 (87) 名古屋  | 29 五十嵐 知美 (28) 札幌            |
| 9 徳永智久 (142) 岡山   | 30 永安繁幸 (371) 東京             |
| 10 藤井えつこ (272) 大阪 | 31 謝 世晶 (269) 大連             |
| 11 羽田 優 (91) 東京   | 32 歐 元韻 (327) 台湾             |
| 12 高野 繁 (149) 浜松  | 33 田港華子 (224) 沖縄             |
| 13 上村幸司 (252) 高松  | 34 吉里彰二 (293) ニューヨーク         |
| 14 荒木義雄 (302) 奈良  | 35 谷口 洋 (136) 名古屋            |
| 15 塚本 靖 (93) 東京   | 36 塩田涼子 (33) 鹿児島             |
| 16 紺野 諭 (111) 千葉  | 37 猪原美穂 (136) 枚方市            |
| 17 濱田智司 (131) 和歌山 | 38 馬岡孝行 (225) 台湾             |
| 18 諸橋隆夫 (279) 所沢市 | 39 船間廣治 (157) 名古屋 (9日のみ参加)   |
| 19 阪口 武 (99) 大阪   | 40A 三宅佳子 (322) 大阪(9日のみ参加)    |
| 20 山下洋史 (298) 仙台  | 40B 須山由佳子 (227) 浜松 (10日のみ参加) |
| 21 小田 護 (154) 上海  |                              |
|                   | (参加人員 9日は40名 / 10日は39名)      |
|                   | +糸藤+資料係兼記録係 田中幸裕氏 (392)      |
| ~~~~~             | ~~~~~                        |

初日 3月9日 (金)

2日目 3月10日 (土)

開場時間： 9時10分  
受付開始時間 9時30分～  
開始時間 10時30分  
終了時間 17時30分  
懇親会開始 17時45分頃  
懇親会終了 18時50分頃 (中締めです)

開場時間： 9時10分  
開始時間 9時30分  
終了時間 16時40分

(欠席は2名です。 / 1番西山さんは、熊本から名古屋まで来られてからインフルエンザのため、参加できず、大変残念でした。 37番猪原さん、事前欠席届あり。)